

この先生にズームイン

ご飯は土鍋派

20年ほど前から、ご飯を炊くときは3合用の土鍋を使っている。「炊飯器が壊れたのがきっかけで。沸騰したら弱火にし、水が無くなるまで放ったらかしでいいので簡単ですよ。炊飯器よりも早く炊き上がり、ご飯が冷めてもおいしい点が魅力だという。



食用だけでなく観賞用にも

食材として使った野菜のへたを水につけ、キッチンカウンターで育てている。「意外と何でも育つんですよ」とにっこり。これまでに育てた野菜は、写真のサトイモのほか、ダイコン、キャベツ、アボカド、ニンジン、豆苗と多岐にわたり、育った後にはおいしくいただいている。



普段使いの愛用品

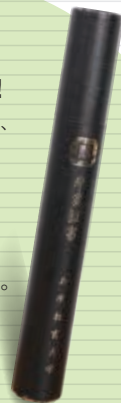
写真は教授になった時に学生たちからお祝いでもらったワイングラスと、「柄がかわいい」とお気に入りマグカップ。ただ、割ってしまうといけなないので、結局は強化ガラスのコップの出番が一番多いとのこと。



先生に質問!

兵教大の卒業生第一号!

実は兵教大の学部1期生で、50音順の先頭だったため、なんと卒業証書には「第一号」の文字が!「入試の時は校舎がまだ完成してなくて、一部の試験は附属の小中学校で受けました」と1期生ならではの思い出も。「校舎は今とほとんど変わっていませんが、当然ながら当時はすごきれいでしたね」



初めて尽くしのキャンパスライフを満喫

第1回大学祭の実行委員として、他大学の知人などに運営方法を教わりながら、開催に向けて仲間と奔走した。「嬉望祭」の名は学内の公募で決めたもので、当日、子ども向けイベントでは司会も務めた。また、友人たちとテニスサークルを結成し、2年生の6月には部活に昇格させた。



秋光恵子 教授

学校心理・学校健康教育・
発達支援コース
(学校教育学部1期生)

兵庫県出身。昭和61(1986)年兵庫教育大学学校教育学部卒業、平成3(1991)年甲南女子大学大学院文学研究科博士課程を単位取得退学。兵庫県中央児童相談所嘱託心理判定員などを経て、14年兵教大講師に着任、26年から現職。研究分野は学校心理学、教育社会心理学。担当する「子ども理解と学級経営の心理学」と「心理統計研究法演習」(いずれも修士課程)が、兵教大の平成27年度ベストクラスに選出された。

先生のご専門は。

A 学校心理学です。教員の教育に懸ける思いを子どもたちにうまく伝えるにはどのような働き掛けがより効果的か、ということをお聞きしたいです。

Q 担当2科目が同時にベストクラスに選ばれました。授業で心掛けている点は。

A 大学院生の多くは現職教員なので、ご自身が実践してきた教育への振り返りにつながるような授業にしたいと考えています。先生方の日々の教育活動の裏付けとなるような研究データを示すことで、「これでいいんだ」「こういうやり方があるんだ」と認識し、現場復帰後に自信を持って実践したり、それらを他の先生に伝えたりしてもらいたいです。

Q 後輩でもある学部生たちに期待することは。

A 4年間、多様な人と関わる中で進路に迷い、悩むことがあるかと思っています。そのプロセスを大切にしたいです。一人で答えが出ないときは、友人やコースの先生方などいろいろな人に相談し、それでも解決の糸口が見つからなければ、学内にいるカウンセラーなどの専門的な立場の人にもうまく使えるようになってほしいです。

Q 先生に質問!

A 先生に質問!

Q 先生に質問!